

# I.B.MUSEUM SaaS インターフェイス新旧比較

## No.1 検索関連

令和5年10月  
早稲田システム開発株式会社

本資料は、I.B.MUSEUM SaaS のリニューアルにあたり、「旧画面から何がどう変わったのか」について新旧のインターフェイスを比較しながらご案内するものです。すでにお届け済みのニュースレター「I.B.MUSEUM SaaSリニューアル情報EXPRESS」でご紹介した内容の要約ともなりますので、下記も併せてご確認ください。

<https://welcome.mapps.ne.jp/products/roadmap>

お問い合わせ専用メールアドレス

[ibms@waseda.co.jp](mailto:ibms@waseda.co.jp)

電話 0120-97-3696 (平日9:30~18:00)





## 概要

ここでは「検索トップ」と「検索結果一覧画面」についてご説明いたします。

旧インターフェイスでは、検索条件を入力して検索ボタンをクリックすることで検索結果一覧の画面が開きました。新インターフェイスでは、検索条件を入力するパネルと検索結果一覧がひとつの画面に統合されています。

これにより、検索を重ねるたびに画面をひとつ前に戻す操作の手間を省けるようになりました。ただ、ボタンの配置など画面のレイアウトが変わるため、はじめは戸惑うことがあるかもしれません。そこで、この資料では、新旧の画面を対比させる形でご説明いたします。

## 目次

2	新しい画面のポイント
3	検索トップ その1
6	検索トップ その2
8	検索トップ   項目セレクト
9	検索トップ   検索オプション
10	検索トップ   検索条件保存
11	検索トップ   クリップリスト
13	検索トップ   新規登録画面呼出
14	検索結果一覧
17	検索結果一覧   さらに検索

## メインメニューの変更点

旧インターフェイスでは「メニューだけの画面」がありましたが、新インターフェイスではメニューを左に寄せてグローバルナビゲーションを設置。各メニュー間の行き来がしやすくなりました。

【旧画面メインメニュー】



【新画面メインメニュー】

## 新インターフェイスのエリア分け

- 1 **グローバルナビゲーション**  
他のメニューにワンクリックで移動。折りたたんでメインエリアのスペースを広げることもできます。
- 2 **検索パネル**  
まずは簡易検索が開きますが、ワンクリックで詳細検索に切り替えることができます。
- 3 **サイドバー**  
各メニュー内での作業で必要となる情報を呼び出すボタンが集約されます。右の画像では、よく使うクリップリストが表示されています。
- 4 **メインエリア**  
その画面の目的となる情報を表示するエリアです。



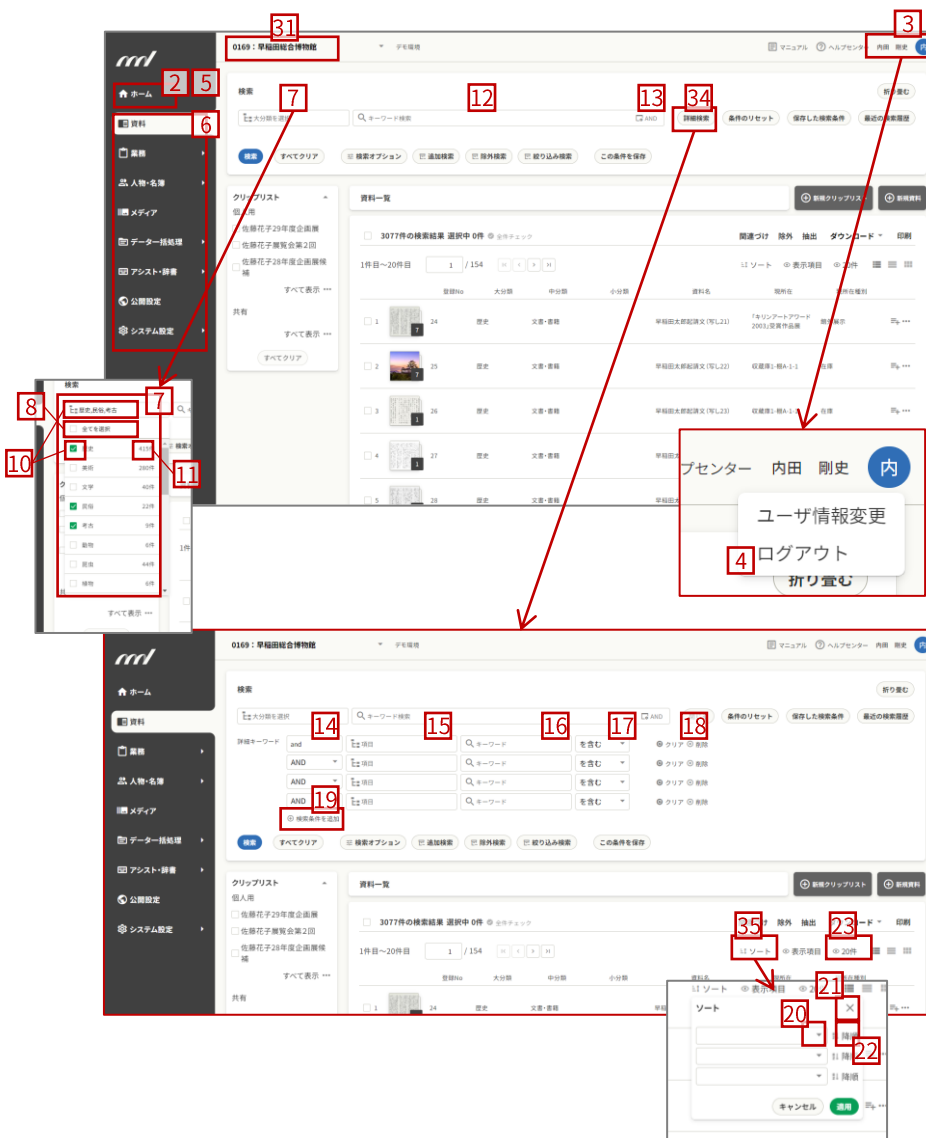
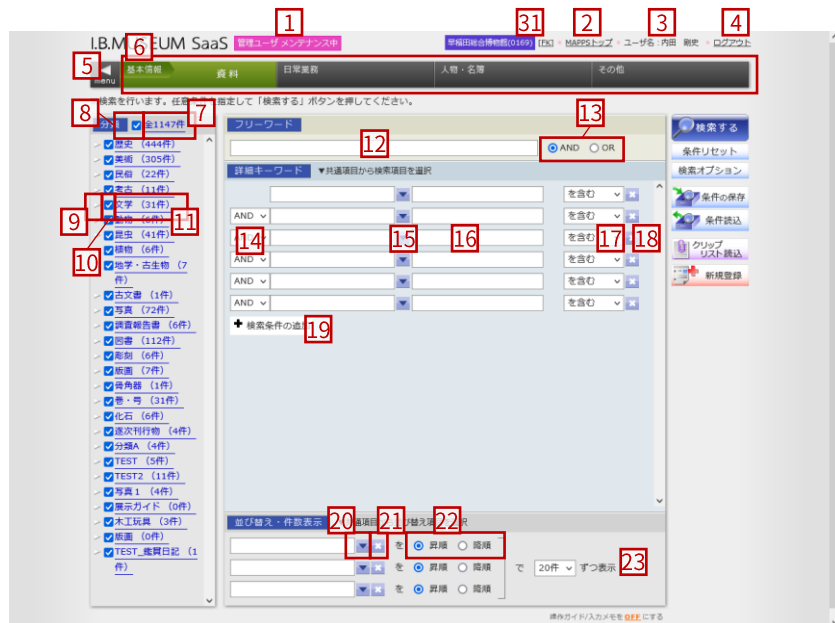
【資料トップ】

検索パネル

各種情報

## 旧インターフェイス

## 新インターフェイス

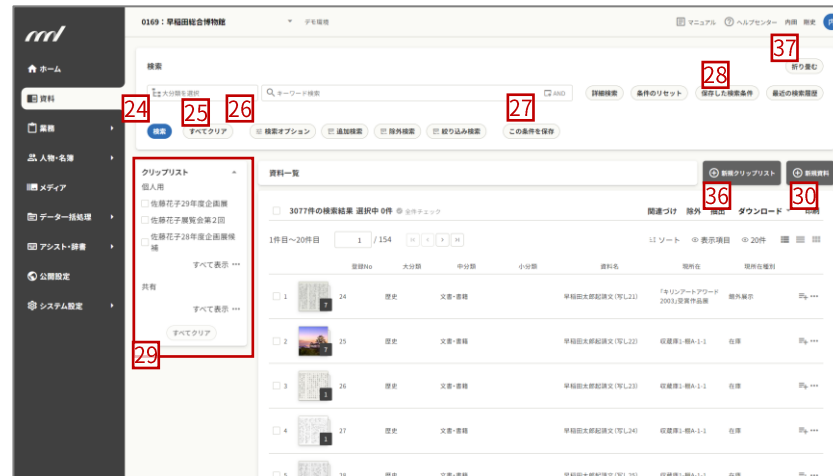
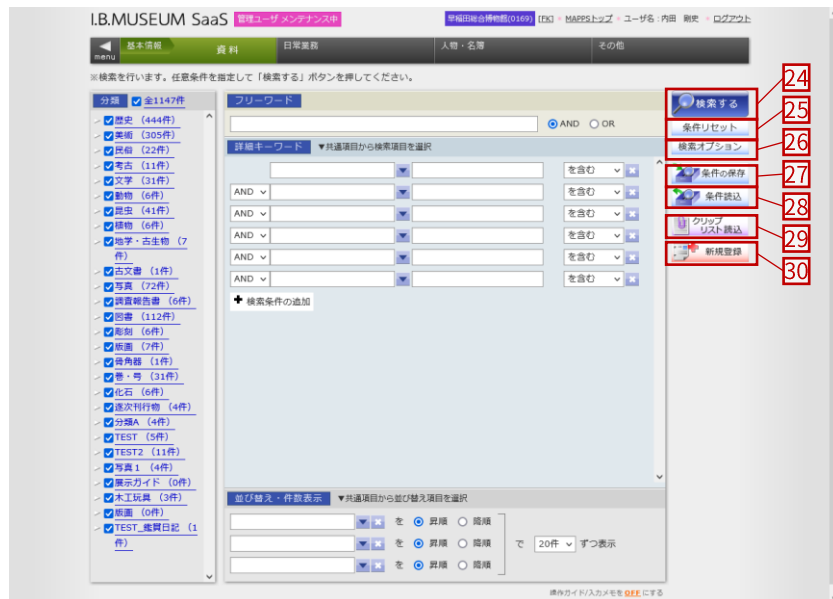


旧	新	内容	操作
31	33	データベース選択ボタン	旧インターフェイスでは開いているデータベースの名称が表示されていました。新インターフェイスでは、データベースの名称を示すとともに（複数のデータベースにアクセスできる設定となっている場合には）別のデータベースを開くボタンとしても機能します。また、メインメニューだけでなく、すべての画面でこの位置に表示されますので、メインメニューに戻ることなく別のデータベースに移ることができます。
1		メンテナンスモード表示	新インターフェイスでは、メンテナンスモードは原則として分類や項目を設定する時だけ利用できます。したがって、ボタンはメインメニュー画面でのみ表示されます。
2	2	トップへのリンク	トップページへ移動します。旧インターフェイスでは小さなリンクでしたが、新インターフェイスでは「ホーム」または左上のロゴをクリックします。
3	3	ユーザ名表示	現在ログインしているユーザの名前が表示されます。新旧で変化はありません。
4	4	ログアウト	ログアウトします。新インターフェイスでは、③のユーザ名アイコンをクリックするとプルダウンメニュー内に表示されます。なお、ログアウトボタンとともに表示される「ユーザ情報変更」ボタンでは、メインメニューに戻ることなく直接パスワードなどを変更できます。
5	5	メインメニューへのリンク	旧インターフェイスではメインメニューへと移動するボタンが用意されていましたが、新インターフェイスはトップページにメインメニューが表示されています。
6	6	グローバルナビゲーション	各メニュー画面へと移動します。新インターフェイスでは要素を整理し、左側に縦に並ぶサイドバーの中に表示しています。
7	7	大分類リスト	新インターフェイスでは、分類欄をクリックすると分類リストが表示され、チェックボックスで選択することができます。選択した分類は、名称が表示されます（複数選択するとカンマで区切られた状態で表示されます）。
8	8	全分類チェックON/OFF	クリックすると、すべてのチェックボックスの選択／解除が切り替わります。
9		ある分類のみ表示	選択した分類のデータを一覧表示します。他のボタンで同様の操作が可能となったため、新インターフェイスでは廃止されました。
10	10	ある分類を選択	分類を個別に選択できます。⑦の通り、選択した分類は名称が表示されます（複数選択するとカンマで区切られた状態で表示されます）。
11	11	分類登録件数表示	その分類に登録されているデータ件数が表示されます。

旧	新	内容	操作
12	12	フリーワード入力ボックス	検索したいキーワードを入力します。
13	13	フリーワード検索 AND/OR選択	AND検索とOR検索のどちらで検索するかを指定します。旧インターフェイスではラジオボタンを使用していましたが、新インターフェイスでは初期状態ではAND検索に固定されており、クリックすることでOR検索と交互に切り替わります。
	34	詳細検索	新インターフェイスで新設されたボタンです。初期状態では簡易検索（フリーワード検索）が表示されており、詳細検索ボタンをクリックすると項目指定検索の入力欄が開きます。
14	14	条件指定検索 AND/OR入力ボックス	AND検索とOR検索のどちらかを指定します。
15	15	検索対象項目設定	検索の対象とする項目を指定します。
16	16	キーワード入力ボックス	検索したいキーワードを入力します。複数のキーワードを設定できます。
17	17	検索方法設定	入力したキーワードに対して「を含む」「で始まる」などの条件を指定します。
18	18	検索方法クリア	入力したキーワードなど、その行の検索条件をクリア（リセット）します。新インターフェイスでは、行をまるごと（クリアではなく）削除することもできます。
19	19	検索条件追加	検索条件を入力する行を一番下に追加します。
	35	ソートボタン	ソートの設定パネルを開いて検索結果を並べ替えます。旧インターフェイスでは検索する前に設定していましたが、新インターフェイスでは検索結果の表示欄のすぐ上にボタンが新設され、画面を戻ることなくその場で並べ替えを行うことができます。
20	20	並び替え項目選択	㊥で表示するソートの設定パネルです。どの項目をどの順番で並び替えるかを設定します。
21	21	並び替え項目クリア	旧インターフェイスでは選択した並び替え項目をクリア（リセット）するボタンでしたが、新インターフェイスではソート設定パネル自体を閉じます。
22	22	並び替え順序選択	昇順か降順かを選択します。旧インターフェイスではラジオボタンで選択していましたが、新インターフェイスでは初期状態で降順、クリックすると昇順に切り替わります。
23	23	表示件数設定	検索結果に表示する件数を、20件・50件・100件から選択します。

## 旧インターフェイス

## 新インターフェイス



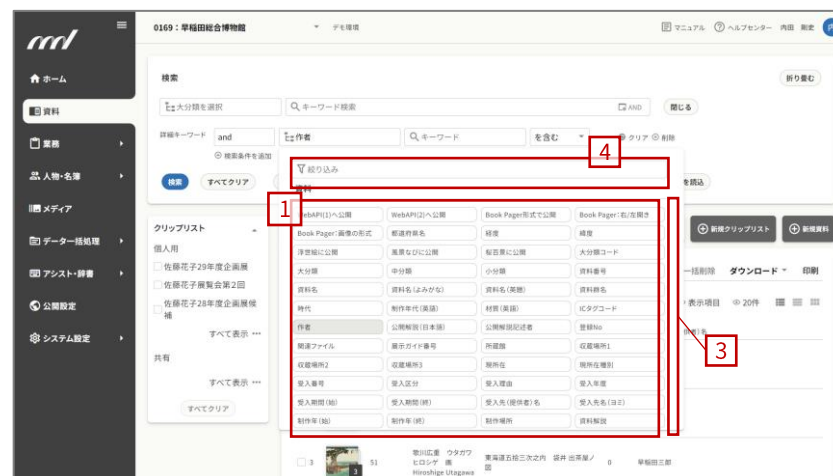
旧	新	内容	操作
24	24	検索	指定した条件による検索を実行します。
25	25	条件リセット	指定した条件をクリア（リセット）します。旧インターフェイスでは「条件リセット」でしたが、新インターフェイスでは「すべてクリア」という名称になりました。
26	26	検索オプション	大文字・小文字を区別しない、異体字・旧字を含めるなど、特殊な検索方法をオプションとして指定できます。
27	27	条件の保存	指定した検索条件を後で呼び出せるよう、表示中の検索条件をそのまま保存します。
28	28	条件読込	保存した検索条件を呼び出します。旧インターフェイスでは「条件読込」という名称でしたが、新インターフェイスでは「保存した検索条件」という分かりやすい表現に変更されました。



旧	新	内容	操作
29	29	クリップリスト読込	保存されているクリップリストを呼び出します。旧インターフェイスでは一覧を表示するパネルがポップアップされましたが、新インターフェイスでは「よく使うクリップリスト」が常に表示されており、それ以外のクリップリストは「すべて表示」ボタンから選択できます。
30	30	新規登録	新たに資料データを登録するための入力画面を表示します。
	36	新規クリップリスト	新インターフェイスで新設されたボタンです。検索画面（検索結果の一覧画面も統合されています）上に表示されている一覧を、そのままクリップリストとして登録することができます。
	36	折り畳み	検索パネルを折りたたむことができます。折りたたむとメインエリアが広がりますので、表示されるデータの件数が多くなります。

## 旧インターフェイス

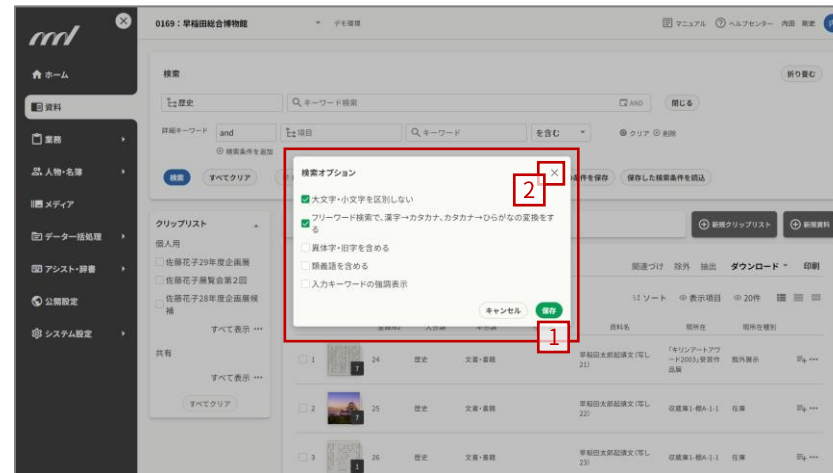
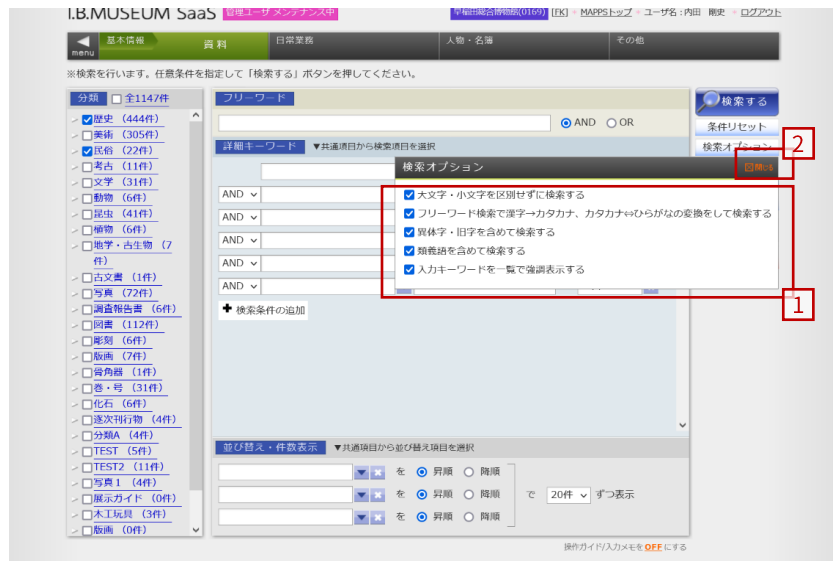
## 新インターフェイス



旧	新	内容	操作
1	1	項目セクタ	検索条件に含めたい項目を選びます。専用のパネル（項目セクタ）を表示して検索対象を選ぶことができます。外観は異なりますが、仕組みそのものは旧インターフェイスから変わりません。
2		項目セクタ上下移動	項目セクタの画面内をワンクリックでスクロールするボタンです。新インターフェイスではスクロールバーに統一し、このボタンは廃止されました。
3	3	項目セクタスクロール	項目セクタをスクロールします。新インターフェイスでは、マウスカーソルを合わせた時のみ表示されます。
4	4	項目名検索	キーワードを入力し、画面内に表示されている項目を絞り込みます。旧インターフェイスでは該当項目が赤枠で囲われましたが、新インターフェイスでは該当項目のみが残り、ほかの項目は表示されなくなりますので、より見つけやすくなります。
5		閉じる	項目セクタの画面を閉じます。ここは項目を一つだけ選択する画面なので、新インターフェイスでは閉じるボタンを廃止、選ぶと同時に自動的に項目セクタが閉じられます。

## 旧インターフェイス

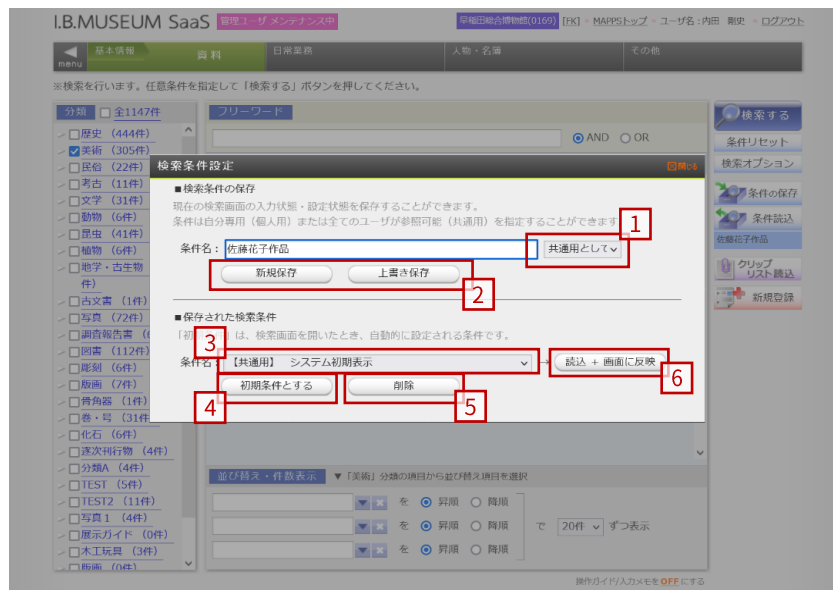
## 新インターフェイス



旧	新	内容	操作
1	1	検索オプション設定	5種類の検索オプションを利用するか否かについて、チェックボックスで指定できます。 ※異体字・旧字、類義語につきましては、機能の利用設定が別途必要です（設定されていない場合はパネルに項目が表示されません）。
2	2	検索オプション閉じる	検索オプションの指定を完了します。

## 旧インターフェイス

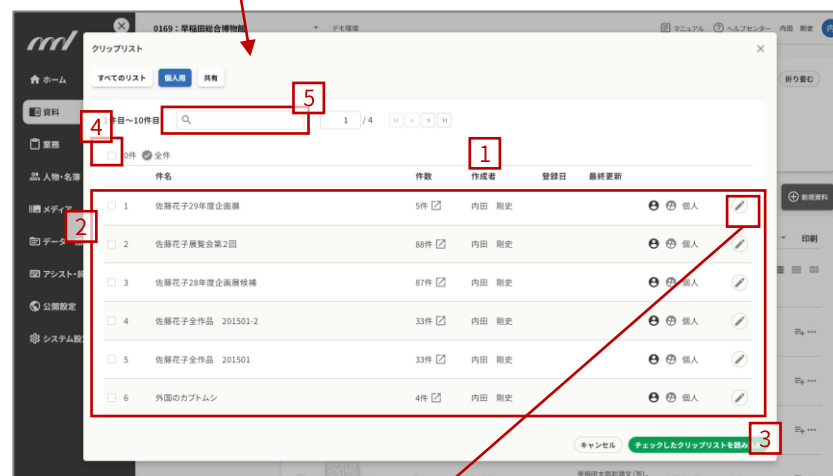
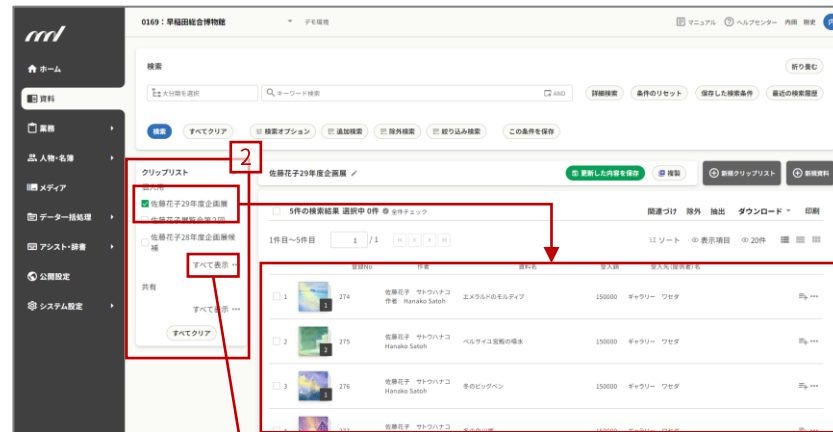
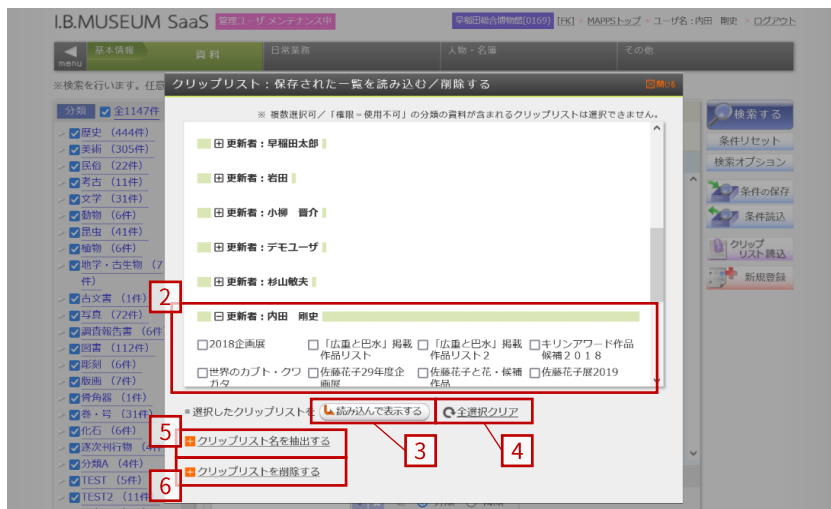
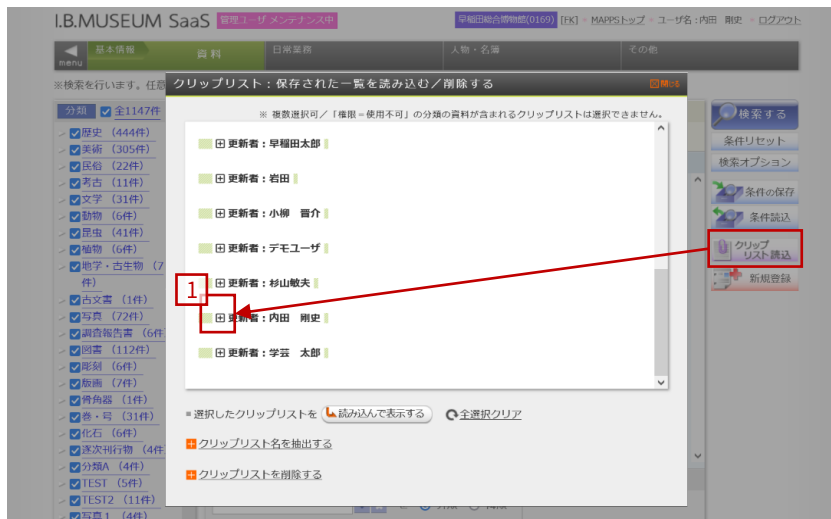
## 新インターフェイス



旧	新	内容	操作
1	1	共有/個人用選択	保存する検索条件を全ユーザで利用できるよう公開するか、個人専用とするかを指定します。
2	2	検索条件保存	別の名称で新規保存するか、同じ名称で上書き保存するかを選びます。旧インターフェイスでは保存後は自動的に初期条件となりましたが、新インターフェイスでは④で「デフォルト」にチェックを入れることで初期条件として設定されます。
3	3	検索条件選択	保存されている検索条件を呼び出します。
4	4	初期条件とする	選択した検索条件を初期条件とします。
5	5	削除	選択した検索条件を削除します。
6		読込 + 画面に反映	旧インターフェイスでは、このボタンをクリックすると、選択中の検索条件の内容が画面に反映されました。新インターフェイスでは、利用したい検索条件の名称をクリックすれば呼び出すことができます。

## 旧インターフェイス

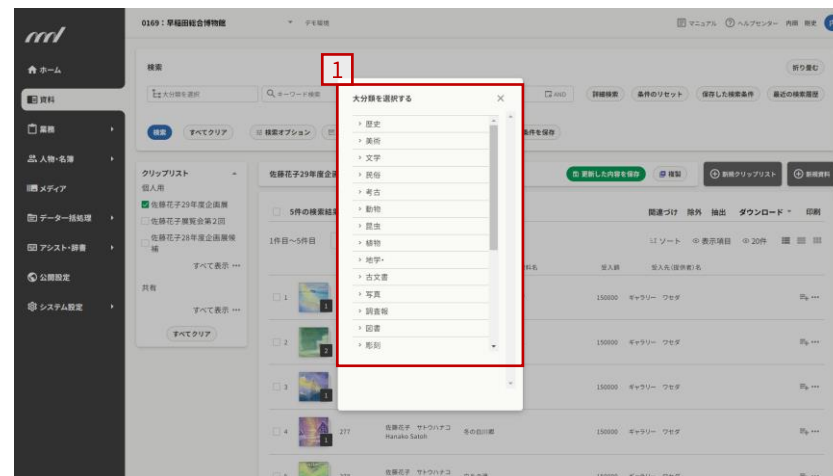
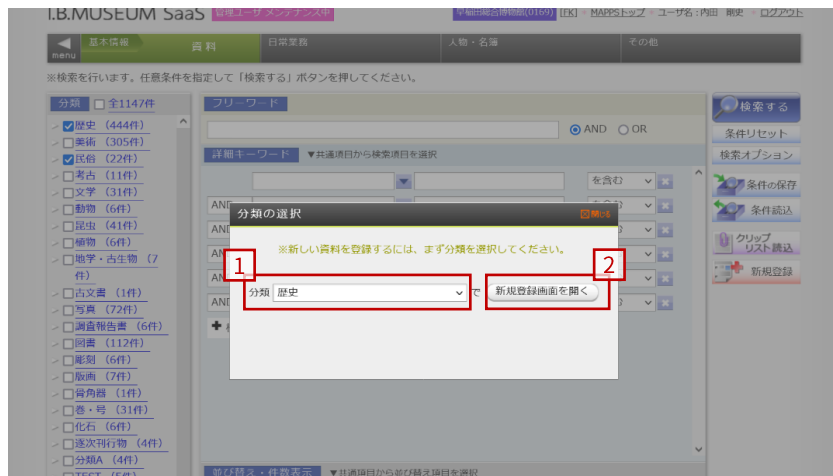
## 新インターフェイス



旧	新	内容	操作
1	1	作成者選択ボタン	旧インターフェイスでは、表示されるリストから名前を指定するとそのユーザが作成したクリップリストが一覧表示されました。新インターフェイスでは、「すべて表示」からクリップリストの一覧を表示すれば作成者名でソートできます。
2	2	クリップリスト一覧	見たいクリップリストにチェックを入れることで、複数を同時に選択できます。新インターフェイスでは「すべて表示」から登録されているクリップリストの一覧を見ることができますが、名称だけでなくデータ件数や登録日、最新更新日などの情報も表示されます。なお、右のペンのマークをクリックすると、名称の編集やリスト自体の削除、全ユーザ共用／個人専用の切り替えが可能です。
3	3	クリップリスト読込	チェックしたクリップリストを呼び出します。なお、新インターフェイスの「よく使うクリップリスト」では、チェックボックスをオンにするだけで対象のリストが開きます（複数をオンにすることもできます）。
4	4	全リストチェック	すべてのクリップリストの選択／解除をまとめて行います。
5	5	クリップリスト抽出	キーワードに基づいてクリップリストを抽出します。旧インターフェイスではボタンをクリックするとキーワード入力ボックスが開きましたが、新インターフェイスではクリップリスト一覧の上部に配置されたボックスに直接入力できます。
6	6	クリップリスト削除	②の画面でペンマークをクリックしたクリップリストを削除します。
	7	クリップリスト名の変更	新インターフェイスで新設された機能です。②の画面でペンマークをクリックしたクリップリストの名称を編集・更新することができます。
	8	個人用、共有の変更	②の画面でペンマークをクリックしたチェックしたクリップリストに対し、全ユーザで利用できるよう公開するか、個人専用とするかの設定を切り替えることができます。

## 旧インターフェイス

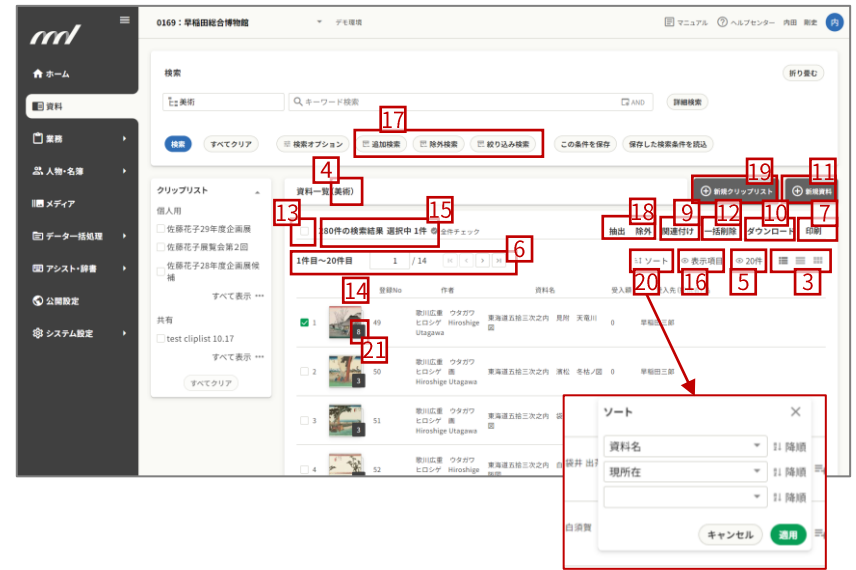
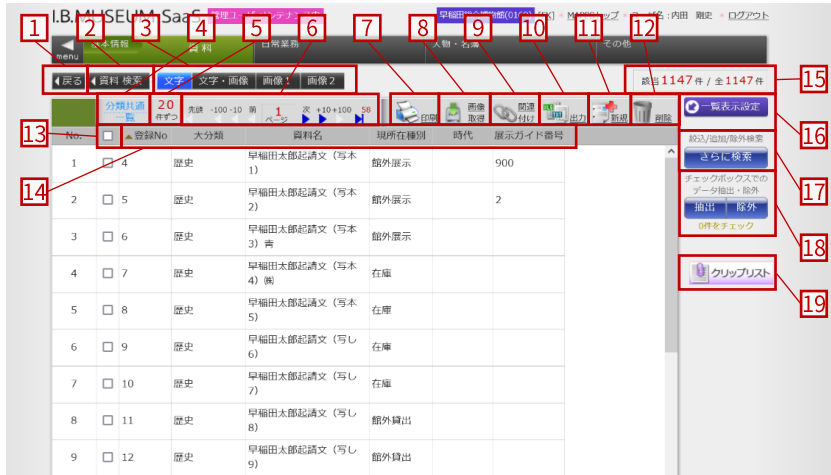
## 新インターフェイス



旧	新	内容	操作
1	1	分類選択	分類を選択します。新インターフェイスでは名称をクリックするとその分類の新規登録画面が開きます。
2		新規登録画面を開く	選択した分類の新規登録画面を開きます。①の通り、新インターフェイスでは名称をクリックするとその分類の新規登録画面が開きますので、このボタンは廃止されました。

旧インターフェイス

新インターフェイス



旧	新	内容	操作
1		前の画面に戻る	検索条件の入力画面に戻ります。新インターフェイスでは、検索条件入力のためのパネルは検索結果一覧と同じ画面上に表示されますので、このボタンは廃止されました。
2		検索トップへ	検索トップへ戻るボタンです。①と同様に廃止されました。
3	3	表示方法変更	検索結果の表示方法を選択したレイアウトに切り替えます。旧インターフェイスでは表示方法の名称で表示していましたが、新インターフェイスではアイコンで表現しています。また、旧インターフェイスの「画像2」は廃止されました。
4	4	分類表示	検索結果が特定の分類に属している場合の表示方法が、旧インターフェイスの「分類名」「一覧」から「資料一覧(分類)」へと変更されました。また、複数の分類にまたぐ場合も、「分類共通一覧」から「資料一覧」と変更されています。
5	5	表示件数切り替え	一覧表示する件数を、10件・20件・50件・100件と切り替えます。

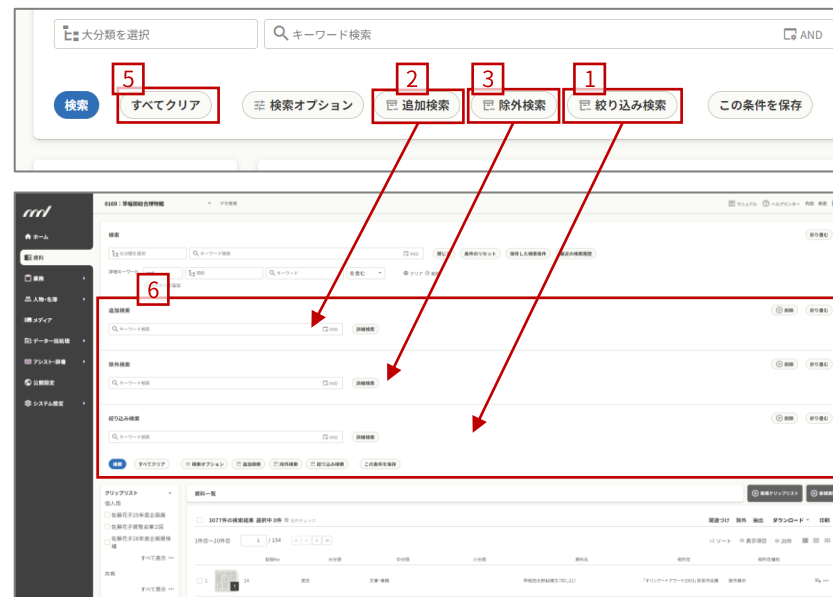


旧	新	内容	操作
6	6	ページ送り	検索結果の表示中に別のページに移動するボタンです。なお、旧インターフェイスでは前後10件・100件の送りボタンがありましたが、新インターフェイスでは廃止されて送り先のページ数を入力しやすいデザインへと変更されました。
7	7	印刷	印刷する帳票の形式をプルダウンメニューで指定します。
8	10	画像取得	画像をまとめてダウンロードします。旧インターフェイスでは独立したボタンから実行しましたが、新インターフェイスでは「ダウンロード」から画像を選択できます。
9	9	関連付け	選択されたデータを「関連資料」として紐付けます。
10	10	出力（ダウンロード）	一覧画面上に表示中のデータを出力します。旧インターフェイスでは「出力」としていましたが、新インターフェイスでは「ダウンロード」に変更されました。
11	11	新規登録	新たにデータを登録するための入力画面が開きます。
12	12	削除	選択したデータを削除します。
13	13	全データ選択	画面に表示中のチェックボックスの選択／解除をまとめて行います。
14	14	項目ラベル	項目の名称を表示します。旧インターフェイスではクリックした項目で昇順・降順を並べ替えましたが、優先順位を付けた複数の項目を組み合わせで表示順を指定できるよう、新インターフェイスでは設定パネルを呼び出すボタン (20) が用意されました。
	20	ソート	検索結果一覧を並べ替えるソート設定パネルを呼び出すボタンです。新インターフェイスでは、3種類の項目を組み合わせでのソートが可能となりました。
15	15	件数表示	検索条件にヒットした（＝一覧に表示されている）データ件数を表示します。新インターフェイスでは、併せてチェックボックスで選択中のデータ件数も表示されるようになりました。
16	16	一覧表示設定	検索結果で表示する項目を指定できます。
17	17	さらに検索	検索結果をもとに、さらに検索条件を設定します。旧インターフェイスでは新しい検索条件の入力画面に切り替わりましたが、新インターフェイスでは表示中の画面から移動せず、下に検索パネルが拡大されます。また、追加検索・除外検索・絞り込み検索の指定も、この画面上で行います。

旧	新	内容	操作
18	18	抽出/除外	検索結果の一覧に対してチェックを入れたデータについて、リスト内に残す（抽出する）か、リストから外す（除外する）かの設定を行います。
19	19	クリップリスト	旧インターフェイスではクリップリストの作成・呼び出しを行うボタンとして機能していましたが、新インターフェイスでは表示中の一覧をクリップリストとして保存する役割に特化するボタンに変更されました。クリップリストの呼び出しは、画面左で縦に表示されている「よく使うクリップリスト」の下にある「すべてを表示」をクリックします。
	21	メディア件数表示	新インターフェイスで新設されました。画像ファイルなど、その資料データに紐付けられているメディアの件数を表示します。

旧インターフェイス

新インターフェイス



旧	新	内容	操作
1	1	絞込検索	元の検索結果を、この画面で指定した条件による検索で絞り込みます。
2	2	追加検索	元の検索結果に、この画面で指定した条件による検索を追加します。
3	3	除外検索	元の検索結果から、この画面で指定した条件による検索結果を除外します。
4		一つ前に戻す	前の画面に戻ります。新インターフェイスでは、このボタンは廃止されました。
5	5	リセット	入力した検索条件をクリア（リセット）します。
6	6	検索条件入力パネル	絞込・追加・除外検索の各ボタンをクリックすると表示される検索条件の入力パネルです。旧インターフェイスでは元の検索条件を見ることはできませんでしたが、条件を加える際にパネルが下へ伸びていく新インターフェイスでは入力済みの検索条件が常に表示され、今どんな検索を行っているかを確認しながら作業を進められるようになりました。